

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公表番号】特表2014-500966(P2014-500966A)

【公表日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2013-542103(P2013-542103)

【国際特許分類】

G 01 M 11/00 (2006.01)

G 01 B 11/06 (2006.01)

G 02 C 13/00 (2006.01)

G 02 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 01 M 11/00 L

G 01 B 11/06 H

G 02 C 13/00

G 02 B 21/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月18日(2014.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

未水和眼科レンズを測定する方法であって、

前記未水和眼科レンズを測定する装置を提供する工程であって、前記装置が、

レーザー光を発生させることができるレーザー源を有する変位センサーと、

前記レーザー光の焦点を合わせる対物レンズと、

前記対物レンズを振動させる発振器と、

前記レーザー光の焦点の相対的な鮮鋭度を測定するカメラと、

を含む、工程と、

凸状表面を有する形成光学素子マンドレルを、前記レーザー光の経路内に位置付ける工程と、

前記測定する装置を使用して、前記光学素子マンドレルの形状の基準測定値を入手する工程と、

前記光学素子マンドレルの前記凸状表面上で前記未水和眼科光学レンズを形成する工程と、

前記形成光学素子マンドレル及び形成された眼科レンズを、前記レーザー光の経路内に位置付ける工程と、

前記測定する装置を使用して、前記形成された眼科レンズを備える前記光学素子マンドレルを測定する工程と、

前記基準測定値を、前記形成された眼科レンズを備える前記光学素子マンドレルの測定値と比較することによって、前記眼科レンズの軸方向厚さを算出する工程と、

を含む、方法。

【請求項2】

前記測定する工程が、球面座標を用いて実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記球面座標が、デカルト座標に変換される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記形成する工程が、自由形成様式で前記眼科レンズを形成する工程を更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記形成する工程が、レンズ形成混合物を前記光学素子マンドレル上に直接重合させることによって、前記眼科レンズを形成する工程を更に含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記レンズ形成混合物が、化学線を用いて重合させられる、請求項5に記載の方法。